

三重県内企業「社長年齢」分析調査（2023 年）

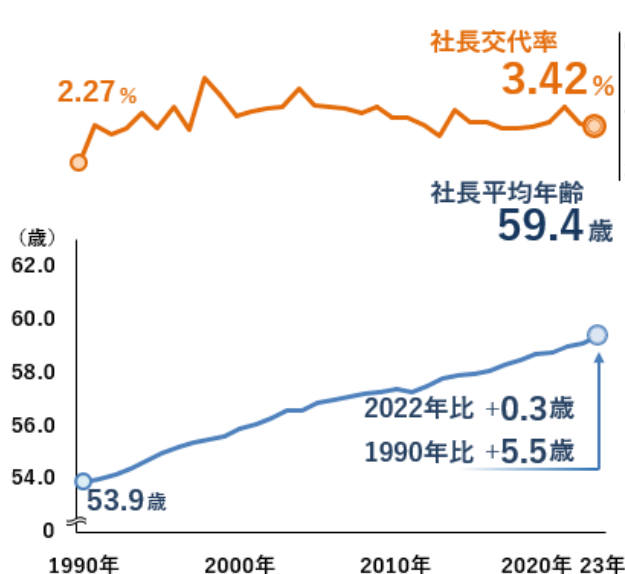
県内社長の平均年齢、59.4 歳 7 年連続全国で最も若い

～ 社長の 8 割が「50 歳以上」、最高年齢を更新 ～

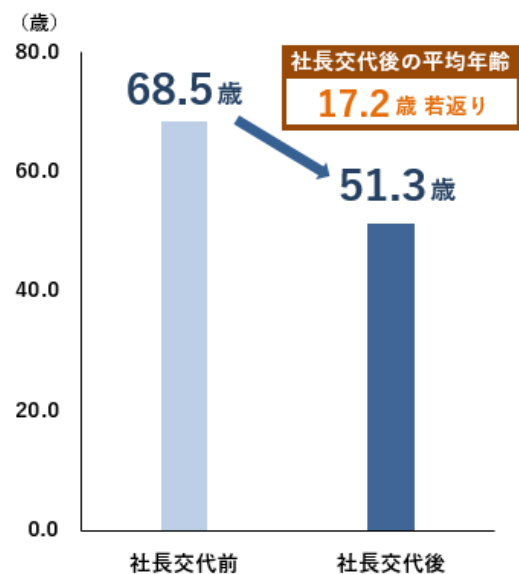
「団塊の世代」の多くが後期高齢者に達し、事業承継の課題が一層深刻になるといわれている「2025 年問題」まで、残すところ 1 年を切った。

帝国データバンク四日市支店が実施した調査では、2023 年における三重県での後継者不在率は全国で最も低い 30.2% となった。円滑な事業承継には中長期的な準備期間が必要であるが、足元では社長の高齢化には歯止めがかからない状態が続いており、バトンタッチが間に合わず事業継続に影響を及ぼすケースが増加する可能性がある。

社長平均年齢/社長交代率の推移



社長交代前後の平均年齢変化



調査結果（要旨）

- 2023 年時点の社長の平均年齢は 59.4 歳。前年を 0.3 歳上回り過去最高を更新
社長が交代した割合は 3.42%、前年から後退
- 「50 歳以上」の社長は 8 割、「40 歳未満」の若手経営者は 3.5%にとどまる
- 都道府県別、三重県の 59.4 歳が最も若い、一方トップは秋田県の 62.5 歳、

■ 本調査では、企業概要ファイル「COSMOS2」（約 147 万社収録/三重県約 22000 社）から 2023 年 12 月時点における企業の社長データ（個人、非営利、公益法人等除く）を抽出し、集計・分析した

社長の高齢化続く 59.4 歳と過去最高 社長交代率も未だ低水準

三重県の社長平均年齢について、2023 年は前年から 0.3 歳上昇し 59.4 歳となり 2012 年より 12 年連続での上昇となった。なお、全国では前年比 0.1 歳上昇の 60.5 歳となり、こちらは統計として遡れる 1990 年から毎年上昇し続け 33 年連続となった。

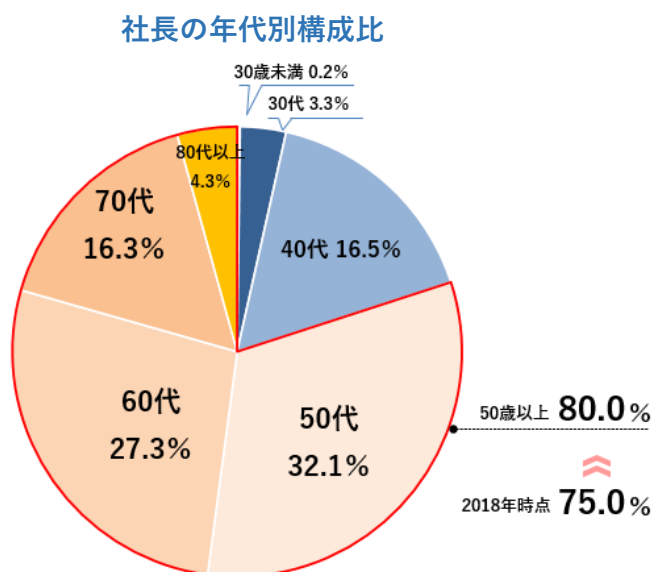
また、社長交代率について三重県は前年 0.1 ポイント低下の 3.42%にとどまり、全国平均の 3.80%を下回った。社長交代率の低迷は、社長の世代交代が鈍化することにつながり、社長の高齢化が進行している証左といえる。

社長が交代する際の年齢は平均で 68.5 歳となり、前回調査（70.5 歳）から 2 歳低下した。高齢ながら社長として経営を続けることにはリスクがともなうが、70 歳近くで後継者にバトンタッチをしている結果がうかがえた。そして、社長交代後に就任する新社長の平均年齢は 51.3 歳となり、17.2 歳の若返りがみられた。

<年代別構成比> 「50 歳以上」の社長は 81.0%と高水準、若手経営者はわずかにとどまる

2023 年時点における社長の年代別構成比をみると、「50 歳以上」が 80.0%となり全体の 8 割を占める結果となった。「50 歳以上」の割合は毎年上昇しており、2018 年時点では 75.0%だったのが、今回の調査ではじめて 8 割となった。

近年はスタートアップなど新興企業を中心に若手経営者に注目が集まっているものの、「40 歳未満」は 3.5%、なかでも「30 歳未満」はわずか 0.2%に過ぎず、若手社長の割合は依然として低い水準にとどまっている。



<業種別> 「不動産」が 62.7 歳と高水準

社長平均年齢を業種別でみると、「不動産」が 62.7 歳で最も高かった。不動産業の中でも「貸事務所」「貸家業」などのいわゆる不動産賃貸業では特に高年齢化が目立つ業種である。他方、独立起業や同族で世代交代する経営者が比較的多い建設業で 58.2 歳、若手起業家が多い“IT 企業”

や個人向け業種が分類される「サービス」は 58.3 歳となった。また農林水産や金融などを総合した「その他」が 58.1 歳と最も若かった。

業種別 社長平均年齢・年代別構成比

業種	(歳)								(%)
	平均年齢	30歳未満	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	合計
建設	58.2	0.2	3.8	18.1	34.5	25.7	14.6	3.1	100.0
製造	60.8	0.1	1.8	15.0	31.1	27.2	19.6	5.3	100.0
卸売	60.2	0.3	2.8	14.9	30.3	30.0	16.8	4.9	100.0
小売	59.6	0.1	3.6	15.9	32.5	27.1	15.8	5.0	100.0
運輸・通信	59.4	0.4	2.2	12.5	37.1	32.1	12.5	3.2	100.0
サービス	58.3	0.4	4.1	18.5	31.6	26.8	15.4	3.2	100.0
不動産	62.7	0.0	2.4	14.2	23.5	27.8	22.3	9.8	100.0
その他	58.1	0.2	6.2	17.6	30.7	26.8	14.9	3.7	100.0
全体	59.4	0.2	3.3	16.5	32.1	27.3	16.3	4.3	100.0

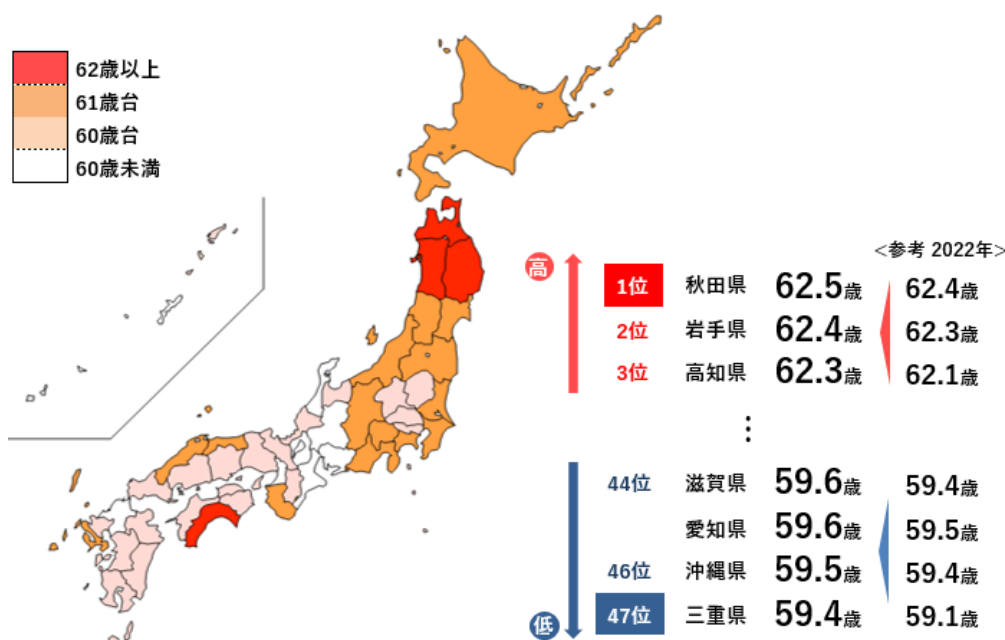
※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため合計は必ずしも100とはならない。網掛けは全体平均を上回る数値

<都道府県別> 都道府県別では「東高西低」、三重県が7年連続で最も若い

社長平均年齢を都道府県別でみると、平均年齢が最も若かったのは三重県で 59.4 歳。三重県は 2023 年時点の後継者不在率が 30.2%*と全国で最も低い点も含め、円滑な事業承継の結果が表れているといえる。一方で、前年から 0.3 歳上昇しており 60 歳に近づきつつある。

都道府県別 社長平均年齢

他方、社長年齢が最も高かったのは、秋田県で 62.5 歳（2022 年比+0.1 歳）。1990 年から 8.7 歳上昇しており、6 年連続のトップとなった。次いで岩手県（62.4 歳、同+0.1 歳）、高知県（62.3 歳、同+0.2 歳）が続いた。なかでも、東北地方は 6 県すべてで全国平均



* 帝国データバンク四日市支店『三重県内企業「後継者不在率」動向調査(2023 年)』2023 年 11 月 29 日発表

(60.5 歳) を上回った。

また、前年からの上昇幅としては和歌山県 (61.3 歳、同+0.4 歳) が最も高かった。なお、47 都道府県のなかで社長平均年齢が前年から低下した地域はみられず、鳥取県 (61.0 歳)、香川県 (60.3 歳)、佐賀県 (60.5 歳)、大分県 (60.4 歳) の 4 県のみ同横ばいだった。

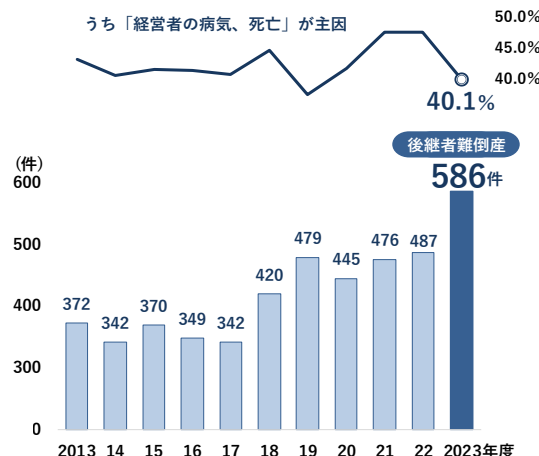
今後の見通し：既に後継者難倒産は過去最高水準、社長の「高齢リスク」噴出が懸念

三重県内企業の社長平均年齢は都道府県別では最も若い結果ながら、上昇傾向が続いており過去最高を更新した。2023 年の社長交代では 17.2 歳の若返りがみられたものの、交代率は 3.42% と低位にとどまっている。このまま社長交代率が改善しなければ、さらに社長平均年齢は上昇しそうだ。

こうした結果を踏まえ、社長の「高齢リスク」にはさらなる警戒が必要だ。参考までに、全国で 2023 年度の後継者難倒産は 586 件となり過去最高を大幅に更新し、そのうち約 4 割は「経営者の病気、死亡」が原因となっていた。

社長の高齢化が進めば、不測の事態が生じる可能性は自ずと高まる。円滑な事業承継を確実に進めていくためには、後継者育成とバトンタッチに向けた計画的かつ余裕のある準備が必要となろう。

参考) 全国後継者難倒産 件数推移



資料のお問い合わせ先

株式会社帝国データバンク 四日市支店

担当：服部 TEL 059-353-3411 FAX 059-353-4109

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。